

主な質問と回答の要旨

◆都市計画の手続きに関すること

質問	回答
都市計画決定を行うことによるメリットは。	都市計画決定することにより、区域の明確化、土地利用調整、住民の合意形成の促進が期待されます。
甲斐市、韮崎市の区間を都市計画決定するのはなぜか。	甲斐市・韮崎市の都市計画マスタープランにおいて既存工業機能の維持・強化、工業誘致・観光振興の促進など、広域的な連携の強化が期待される路線として位置付けられており、甲斐市、韮崎市は中部横断自動車道と密接な関係を有するため都市計画決定を行うものです。
都市計画原案はどのような点に留意して作成しているのか。	工場や集落等への影響、道路構造令との適合、交差する河川や道路管理者との調整状況、県の総合計画や山梨県都市計画マスタープランとの整合等について確認した上で作成しています。

◆ルート・構造に関すること

質問	回答
新設するのではなく国道141号や県道を活用してはどうか。	計画段階評価において、国道141号等の活用も含める中で検討し、雨量の通行規制や急勾配の箇所が存在する等の課題があることから、全区間で新たに道路を整備する案となりました。
ルートの変更を求める意見は反映されるのか。	頂いた意見については慎重に検討し、都市計画の案に反映できるものについては反映しながら手続きを進めていきます。
なぜこのようなルートとなったのか。	集落や自然環境等への影響ができる限り少なくなると考えられるルートを選定しています。
計画交通量は何台か。	1万台以上/日を想定しています。
冬場は凍結や降雪が予想されるが対策は。	積雪や寒冷な地域であることを前提に設計は行われています。また供用後は凍結等に配慮して管理が行われるものと考えています。

掘割式とはどのような構造なのか。	道路面が地表面より5m以上低い区間が350m以上連続している区間のことです。
ルート選定の際の配慮したポイントである、集落の範囲はどのように決めたのか。	現地踏査等により、家屋が多く集積している概ねの範囲を集落としています。
支障となる家屋の件数は。	詳細な測量が行われていないため正確な数ではないが、概ね80件です。

◆環境影響評価の手続きに関すること

質問	回答
方法書手続きの際の住民意見の反映状況は。	方法書に対する知事意見は、方法書手続きの際に頂いた住民意見に配慮して作成されており、その後の現地調査等は知事意見を踏まえるなかで実施しています。
動物への影響を考慮する中でルートは検討されているのか。	環境影響評価を踏まえる中で、動物への影響を考慮しルートを選定しています。
環境影響評価に関する説明会は今後、行われるのか。	準備書の公告・縦覧の際に行います。

◆事業実施段階に関すること

質問	回答
事業化までのスケジュールは。	都市計画の手続きが始まったばかりであり、並行して環境影響評価の手続きも行っているため、まだ見通せない状況です。
都市計画決定は4車線であるが、整備も4車線で行うのか。	長坂・八千穂間について、暫定2車線で整備を行うのか、それとも最初から4車線で整備を行うのかは、まだ決まっていません。
個別補償（水枯渇、日陰等）は。	事業の実施段階で工事による影響が想定される場合は必要な調査を行い、工事によって影響があった場合は、基準にもとづいて補償が行われます。
工事費用はいくらか。	工事費用については事業着手時に算定されます。